



バリアフリーセット

障がいの有無にかかわらず、すべての子どもたちが読書を楽しむことができる、様々な形態の資料と、日本国際児童図書評議会(JBBY)が推薦するユニバーサル児童図書を組み合わせました。

比較的入手しやすい市販品から選択しています。

市町村の図書館(室)や学校図書館の選書の参考にしたり、学校で活用したりするなど、柔軟に活用してください。

学校図書館や学級文庫と同様に、児童生徒へ貸し出してもかまいません。

北海道立図書館 総務企画部企画支援課

〒069-0834 江別市文京台東町 41 番地

TEL 011-386-8521(代表) / **FAX 011-386-6906**

Email shienka@library.pref.hokkaido.jp (企画支援課 事業全般)

for-gakko@library.pref.hokkaido.jp (学校図書館協力貸出し)

URL <https://www.library.pref.hokkaido.jp/>

点字絵本

「点字つきさわる絵本」とも言い、見えない人(見えにくい人)が点字と触図しょくず(さわって楽しめる絵)で読みとれるように工夫した絵本です。
出版社による造作の違いにもご注目ください。

入手するには

市販されているものが、通常の図書と同様に入手できます。

出版情報については、オンライン書店などでも調べることができます。

「てんじ えほん」「さわる えほん」で検索！

もっと詳しく

■ e-hon

<https://www.e-hon.ne.jp/bec/EB/Top>

■ ホンヤクラブ

<https://www.honyaclub.com/shop/default.aspx>

布の絵本

「さわる絵本」とも言い、フェルト・木綿などのやわらかい布地でできている絵本です。

さわって物の形を確かめたり、ボタン・スナップなどを使用し、自由にパーツを取ったり付けたりして遊ぶことができます。

布の絵本にさわることが、手指の機能や思考の訓練にもなるとも言われています。

入手するには

手作業で製作するものですが、道内では、ふきのとう文庫で材料セットと完成本を扱っています。なお、完成本は公的施設へのみの販売になります。

ボランティアなどの協力により製作・活用している図書館の例も多くあります。

もっと詳しく

■ 公益財団法人ふきのとう文庫

〒060-0006 札幌市中央区北6条西 12 丁目8-3

TEL 011-222-4839

URL <http://fukinotou.org/>

エルエル

LLブック

LLとは、スウェーデン語の「LättLäst」の略語で、「やさしく読める」という意味です。文字を読むのが苦手な人でもわかりやすいよう、やさしい表現を使ったり、絵や写真を付けた本です。

日本ではまだ種類は多くはありませんが、おはなしのほか、図鑑など知識の本も発行されています。

入手するには

市販されているものが、通常の図書と同様に入手できます。

出版情報については、オンライン書店などでも調べることができます。

「LL ブック」で検索！

もっと詳しく

■ e-hon

<https://www.e-hon.ne.jp/bec/EB/Top>

■ ホンヤクラブ

<https://www.honyaclub.com/shop/default.aspx>

マルチメディア^{デ イ ジ ー}DAISY

再生機器を使い、音声を聞きながら文章を読むことができるCDです。読んでいる部分がハイライトで強調されるので、文字を追うのが苦手な人の助けになります。

操作方法

このセットのCDについては専用の再生機は不要で、パソコンにセットするだけで画面が開きます。iPad、iPhoneに再生アプリ「VOD」をインストールして再生することもできます。
※CDケースに「操作ガイド」を同封しています。

入手するには

手作業で製作するものですが、受注生産をする団体があります。

道外では、ボランティアなどの協力により製作・活用している図書館の例があります。

もっと詳しく

■ 公益財団法人日本障害者リハビリテーション協会

〒162-0052 東京都新宿区戸山1-22-1

TEL 03-5273-0601

URL <https://www.jsrpd.jp/overview/daisy/>

ジェイビービーワイ

JBBY 推薦図書

日本国際児童図書評議会(JBBY)は2年に1度、バリアフリー児童図書を国内選考し、国際児童図書評議会(IBBY)に推薦しています。全世界から推薦された中から特に際立つ作品が選ばれ、『世界のバリアフリー児童図書』として紹介されます。

2023 年からの推薦カテゴリー

カテゴリー1 「誰もがアクセスできる本」

カテゴリー2 「障害がある子どもや人物を描いた本」

【参考】2021 年以前のカテゴリー

カテゴリー1「スペシャルアプローチ(配慮)」

点字・手話・絵文字など、作り方やデザインに特別な配慮がある本

カテゴリー2「ユニバーサルアクセス(共に)」

誰にとっても読みやすい絵本や読み物。

一般市場に出ている作品の中から、学習障害、知的障害、発達障害のある若い人たちも楽しめる本、特別な仕様ではなく幼年向きでもない本

カテゴリー3「ポートレート(理解)」

障害のある人びとを描写した絵本、小説、ノンフィクション

入手するには

すべて市販されており、通常の図書と同様に入手できます。

この他にも、一般に出版されている本の中から、子どもたちの反応がよい本を探してみるのもよいでしょう。

大活字本

子ども向けの大活字本が発行されています。
視覚障害のある子どもたちだけでなく、学習障害や外国
ルーツの子どもたちをはじめ、どんな子どもたちにも読み
やすい本として人気です。

入手するには

現在、入手しやすい子ども向けの大活字本としては「大きな
文字の青い鳥文庫シリーズ」があり、読書工房が受注生産
しています。

文字は、読みやすさに配慮したゴシック体で、通常の
約 2.5 倍の大きさの 22 ポイントのものを使用しています
(すべての漢字によみがながついています)。

販売図書リストはホームページで公開されています。

もっと詳しく

■ 講談社「大きな文字の青い鳥文庫」

http://aoitori.kodansha.co.jp/big_character/

■ 有限会社読書工房

〒171-0031 豊島区目白3丁目13番18号ウイング目白102号

TEL 03-5988-9160

URL <https://d-kobo.jp/>